

令和 8 年 2 月 21 日
防災局原子力安全対策課

**柏崎刈羽原子力発電所 6 号機の起動工程の
状況等をお知らせします。**

柏崎刈羽原子力発電所 6 号機の起動工程の状況および、県が実施している発電所周辺の環境放射線モニタリング結果等を以下のとおりお知らせします。

- 別紙 1 柏崎刈羽原子力発電所 6 号機の起動状況
- 別紙 2 柏崎刈羽原子力発電所周辺の環境放射線モニタリング結果
- 別紙 3 6 号機起動工程に係る状況確認の結果

なお、県が実施している放射線モニタリングでは、異常な値は検出されていません。発電所周辺の県放射線モニタリングの状況はこちらからご覧いただけます。

<http://housyasen.pref.niigata.lg.jp/>

本件についてのお問い合わせ先
原子力安全対策課 課長補佐 石山
(直通) 025-282-1639 (内線) 6463

柏崎刈羽原子力発電所 6 号機の起動状況

2月19日 午後7時 ～ 2月20日 午後5時までの実施内容（実績）

| 項 目 | 状 況 | 結 果・対 応 |
|------------------|-------|------------|
| ○中間停止における点検・保全作業 | 実施中 済 | 良・調整実施 評価中 |
| | | |
| | | |

対応状況等

○プラント状態は安定しており、外部への放射能の影響なし。

2月21日 午前9時現在の状況

| | | | | | |
|----------|---------|-------|---------|------|--|
| 原子炉 | 運転中・停止中 | 炉内圧力 | 0.00MPa | | |
| タービン | 運転中・停止中 | 発電機 | 発電出力 | 0MW | |
| 復水器 | 取水温度 | 10.2℃ | 温度差 | 0.0℃ | |
| 冷却水 ※ | 放水温度 | 10.2℃ | | | |

2月20日 午後5時 ～ 2月21日 午後5時までの実施内容（予定）

| 項 目 |
|------------------|
| ○中間停止における点検・保全作業 |
| |
| |
| |

※

発電機出力5.5MW以下の際は、当社HPのリアルタイムデータにて取放水温度データが表示されないため、復水器（B）水室 出入口温度（瞬時値）を記載します。なお、5.5MW以上となりましたら取放水温度（24時間平均）を記載するとともに、リアルタイムデータ（<https://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/realtime/cw-j.html>）でもご確認いただけます。

柏崎刈羽原子力発電所周辺の環境放射線モニタリング結果

2月21日(土)9時現在、モニタリング結果に異常はみられませんでした。

1 空間放射線量率(9時現在)

| 測定地点 | | 測定値 ($\mu\text{Sv/h}$) | 通常の測定値範囲 ($\mu\text{Sv/h}$) | 備考 | |
|---------------------|--------|-----------------------------|----------------------------------|------------|------------------------------------|
| 常時監視 (発電所周辺監視調査) | 放射線監視局 | 1 柏崎市街局 | 0.036 | 0.016~0.16 | 積雪のため通常の範囲を下回る場合があります。 (次頁説明参照) |
| | | 2 荒浜局 | 0.035 | | |
| | | 3 下高町局 | 0.029 | | |
| | | 4 刈羽局 | 0.030 | | |
| | | 5 勝山局 | 0.022 | | |
| | | 6 宮川局 | 0.037 | | |
| | | 7 西山局 | 0.027 | | |
| | | 8 赤田町方局 | 0.031 | | |
| | | 9 土合局 | 0.018 | | |
| | | 10 発電所南局 | 0.023 | | |
| | | 11 発電所北局 | 0.022 | | |
| 監視強化 | 可搬型MP | 荒浜コミュニティセンター | 0.025 | 0.016~0.16 | 積雪のため通常の範囲を下回る場合があります。 (次頁説明参照) |
| | | 大湊局 | 0.018 | | |

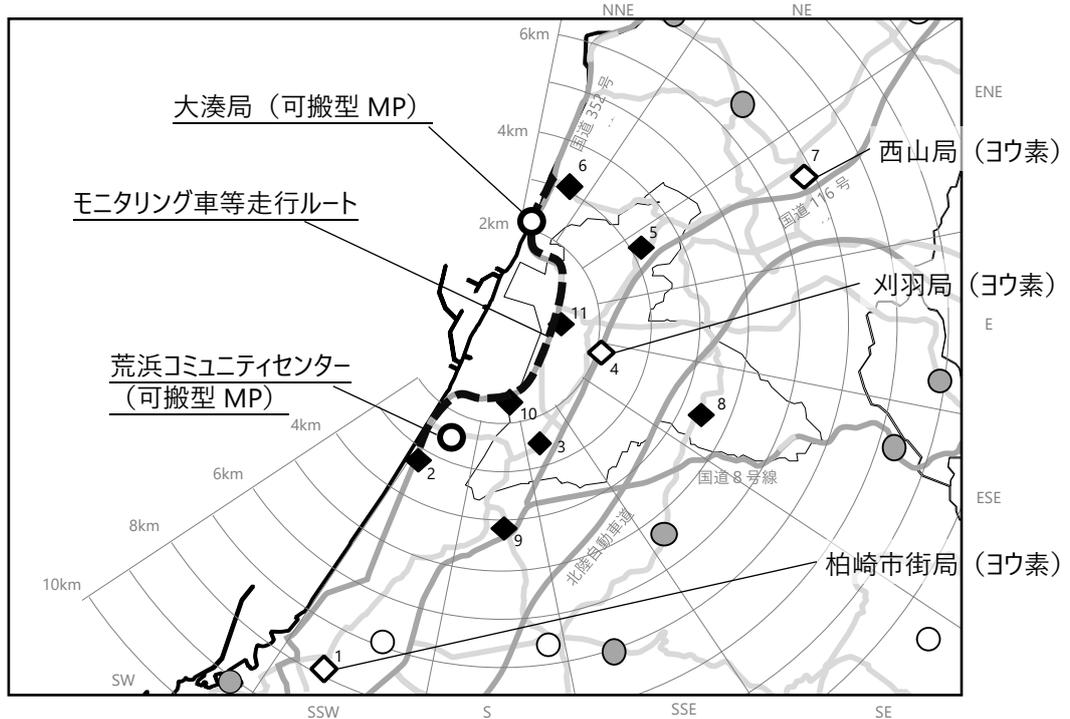
※ 柏崎刈羽原子力発電所周辺のモニタリング情報は、県のホームページで見ることができます。(http://housyasen.pref.niigata.lg.jp/)

| 測定方法 | | 測定値 ($\mu\text{Sv/h}$) | 通常の測定値範囲 ($\mu\text{Sv/h}$) | 備考 |
|------|------|-----------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
| 監視強化 | 走行測定 | 0.019~0.049 | 0.016~0.16 | 2月20日 14時00分~ 16時00分 実施 |

2 大気中放射性ヨウ素

| 測定地点 | | 測定結果 (Bq/m^3) | 試料採取期間 | 備考 |
|------|-------|-----------------------------|-----------------------|----|
| 常時監視 | 柏崎市街局 | 検出されず | 2月19日12時~ 2月20日12時 | |
| | 刈羽局 | 検出されず | | |
| | 西山局 | 検出されず | | |

測定地点図 ※ 下線部は強化した内容



凡 例

- ◇ モニタリングポスト (ヨウ素も測定)、◆ モニタリングポスト
- ◇1 柏崎市街局 ◆2 荒浜局 ◆3 下高町局 ◇4 刈羽局 ◆5 勝山局 ◆6 宮川局
- ◇7 西山局 ◆8 赤田町方局 ◆9 土合局 ◆10 発電所南局 ◆11 発電所北局
- 可搬型 MP - - - モニタリング車等走行ルート ○ 緊急時局 ● 緊急時用大気モニタ (線量率も測定)

【測定値、測定結果の単位等について】

- ・ $\mu\text{Sv/h}$ (マイクロシーベルト毎時) は、1 時間当たりの人体に対する放射線の影響量を表す線量率の単位です。Gy (グレイ) = Sv (シーベルト) として換算しています。マイクロ (μ) は 100 万分の 1 を意味します。
- ・ 測定結果の大部分は、大地に含まれる自然放射性物質からの放射線量など自然由来によるもので、地点によっても異なります。
- ・ 雨の中にも自然放射性物質が含まれるため、雨が降ると一時的に放射線量が上昇することがあります。一方で、積雪時には、大地からの放射線が積雪により遮られるため、測定値が低下します。
- ・ モニタリング車等の走行測定において、トンネル通過時の測定値はトンネル外と比べ高い値となります。これは、トンネル内では地面からの放射線のほかに、天井及び側面 (コンクリート等からの自然放射線) からの影響が加わるためです。
- ・ Bq (ベクレル) は、放射能を表す単位で、1 Bq では 1 秒間に 1 個の原子が崩壊し、放射線を放出します。人体には天然放射性核種がわずかに含まれていますが、仮に体重が 60kg とすると、その放射能は約 7,000Bq になります。そのほとんどが、カリウム 40 と炭素 14 という天然放射性核種です。
- ・ Bq/m^3 (ベクレル毎立方メートル) は、1 立方メートル (1m^3) (=1000 リットル) の空気中に含まれる放射能を表す単位です。
- ・ 「検出されず」とは、測定機器の検出できる最低値 (0.076 Bq/m^3) 以下の値であることを示します。
- ・ 「監視強化」は、今回の再稼働にあたり、常時監視 (発電所周辺監視調査) に加えて実施するものです。

6号機起動工程に係る状況確認の結果

2月20日（金）、下記のとおり安全協定に基づく状況確認を実施しましたのでお知らせします。

記

- 1 日時 令和8年2月20日（金） 13時00分～17時30分
- 2 確認者 新潟県、柏崎市、刈羽村
おぼらとおる
小原 徹 技術委員会座長（東京科学大学総合研究院教授）
なかしまけん
中島 健 技術委員会委員（京都大学名誉教授）
ながややすのぶ
長家 康展 評価会議委員
（国立研究開発法人日本原子力研究開発機構原子力科学研究所
原子力基礎工学研究センター 炉物理・熱流動研究グループ リーダー）
かのうなおき
狩野 直樹 評価会議委員（新潟大学工学部准教授）
- 3 内容
 - ・ 中間停止時の点検作業
 - ・ 中間停止までの起動工程の検査結果、放射線監視の結果等

専門家のコメント

- 小原 技術委員会座長
中間停止の点検作業が着実に進められていること、点検ではベテランから若手への技術継承が行われていることを確認した。
また、2月17日の制御棒の警報発生事象についても説明を受け、組織的に対応していること、原子炉の安全が確保されていることを確認した。
- 中島 技術委員会委員
中央制御室とタービン設備関係の現場で説明を受け、しっかりと点検が行われていることを確認した。社員が活気をもって作業を行っているように感じた。
- 長家 評価会議委員
原子炉起動から中間停止までの排気筒モニタ、モニタリングポスト等の値について、安全上問題がないレベルであることを確認した。
- 狩野 評価会議委員
中央制御室と現場が綿密に連絡を取って中間停止の点検を進めており、作業は順調に進んでいるように感じた。若手とベテランがコミュニケーションを取っていたことは良い点であり、今後も継続してもらいたい。